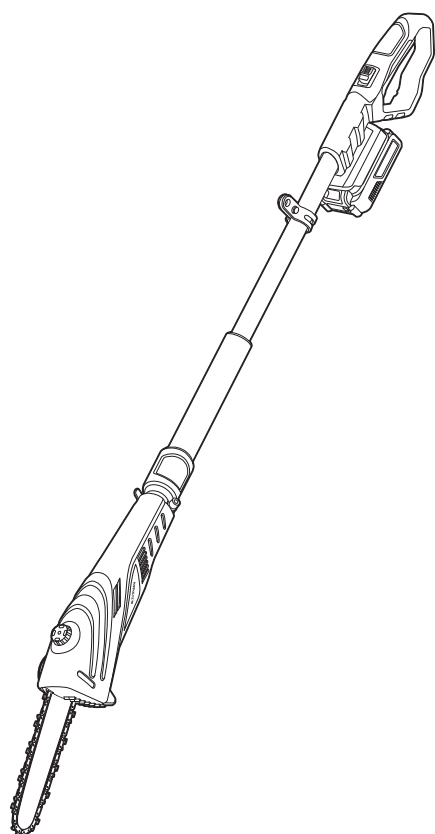


充電式ポールチェーンソー

JPC1518

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	6
各部の名称	7

取り扱いかた

準備	8
使いかた	12
お手入れ	15

こんなときには

故障かな？と思ったら	20
仕様	22
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれが高い、差し迫った内容を示しています。

充電機についての注意



- 充電機を交換するときは、説明書にしたがい正しく取り付ける
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
- 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- 充電機は分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 指定以外の充電機は使用しない
- 付属の充電器以外で充電しない
- アイリス18V電動工具シリーズ以外に使用しない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で、充電・保管しない
- 高温になる場所（車内など）に放置しない
- 充電機を、火に投げ入れたり、加熱したりしない
- 充電機を、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- 充電機を水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。



接触禁止

- 運転中のソーチェーンに触れない
大けがの原因になります。



- 使用後は、必ず充電機を外す
突然動作して大けがの原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

充電機についての注意



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、
直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。

- 電解液が皮膚や衣服に付いたときは、
すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷のおそれがあります。



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、
使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。

- 充電機を交換するときは、乳幼児の手の
届くところに置かない
感電やけがの原因になります。



- 次のような人には使用させない
 - ・ 病気・けが・体調不良・過労の方
 - ・ 酩酊している人
 - ・ 酔い止めなどの薬を服用している人
 - ・ 作業するための十分な力がない方
 - ・ 子供
 - ・ 妊娠している方
 - ・ 剪定について知識と経験のない人けが・事故・体調不良の原因になります。

- 子供に触れさせない
けがや事故の原因になります。



- 必ず両手で、しっかりチェーンソーを
持って作業する
けが・事故の原因になります。



- ソーチェーンが停止しないうちは手を離
さない
けがの原因になります。使用を終了する
ときは、必ずソーチェーンが完全に停止する
まで待ってから、手を離してください。

- ソーチェーンを何かに押し付けて止め
ない
事故の原因になります。



- ソーチェーンにはさまざまな異物を取り
除いたり、ソーチェーンを掃除したり
するときは、必ず運転を止め、充電機
を外す
- お手入れしたり、修理したりする
ときは、必ず充電機を外す
けがをするおそれがあります。



- 必ず明るいところで使用する
作業するときは、日中または照明の十分に
明るいところで使用してください。
事故の原因になります。

- 作業するときは、体に合った、安全で
動きやすい服装で行う
 - ・ ネクタイやアクセサリー、ひもなどは外す
 - ・ 長袖の上着や長ズボンを着用する
 - ・ 長い髪の毛は、まとめる巻き込まれてけがをするおそれがあります。

- 必ず保護帽やヘルメット・マスク・保
護手袋・ゴーグル・滑りにくい靴など
を着用する
枝やほこりが飛び散って当たったり吸い
込んだりすると、けがや事故、体調不良の
原因になります。

- 軍手は使用しない
巻き込まれてけがをするおそれがあります。

充電器は正しく使う



- 充電器の電源プラグのほこりは定期的
に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。

- 充電器の電源プラグは、コンセントの
奥まで確実に差し込む
ショートして、火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- ぬれた手で充電器の抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 充電器の電源プラグが傷んだり、コン
セントの差し込みがゆるいときは使わ
ない
ショートして、火災・感電の原因になります。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 乳幼児に充電器の電源プラグをなめさ
せない
けがや感電の原因になります。

- 本機の専用充電機以外は充電しない
火災・感電・破裂の原因になります。

- 屋外で使わない
充電器は室内専用です。屋外で使用する
と、感電・過熱・火災の原因になります。

安全上の注意 つづき



水ぬれ禁止

- 雨の中や水回り、ふろ場など、ぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- 本体や充電器を水につけたりしない
- ぬれた生け垣に使用しない
火災・事故の原因になります。



- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、充電池を取り外す
火災や事故のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音や振動、においがする
- 破損・変形しているところがある
- ソーチェーンに異物がはさまっている
- スイッチから手を離しても停止しない
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
- ソーチェーンが硬い物に当たったときは、破損や変形がないか点検する
けがの原因になります。



- 使用しないときは、子供の手の届かない、湿気の少ないところで保管する
けが・感電の原因になります。



分解禁止

- 自分で分解・修理・改造しない
火災・感電・けが・事故の原因になります。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにお問い合わせください。



- 使用する前に、破損や変形がないか、必ず点検する
破損や変形があった場合は、使用せず、修理専用コールにお問い合わせください。



- 作業するときに、周囲に人やペットがいないことを確認する
事故の原因になります。特に子供がいるところでは作業しないでください。
- 電線のあるところでは十分に注意する
事故の原因になります。十分な距離のあることを確認してください。



- 不安定な場所・姿勢で作業しない
必ず足場を確保して作業してください。はしご・脚立などを使用するときは、使用方法を理解し、安全に使用してください。
けが・事故の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 充電が完了した充電電池は、充電器にセットしたまま放置しない
液もれのおそれがあります。
- 充電電池は、充電する前にごみやほこりを取り除く
火災・感電の原因になります。
- 使用しないときは充電器の電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず充電器の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- ぬれた充電電池を充電器にセットしない
火災・感電の原因になります。ぬれている場合は、水気を拭き取り、乾かしてからセットしてください。

- 充電器の電源コードを傷つけない
- 充電器の持ち運び時に電源コードを引っ張らない
充電器の電源コードを、傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、はさみ込む、とがった角に当てるなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 他の機器の部品を取り付けて使用しない
事故のおそれがあります。



- スイッチに手をかけて持ち運びしない
突然動作して、けがの原因になります。



- 取扱説明書や本体ラベルをよく読み、安全に使用する
事故の原因になります。



- 木材の切断以外の用途に使用しない
事故の原因になります。
- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外に使用すると、誤動作や火災・事故などの原因になります。



- 使用後は、毎回お手入れをする
事故を未然に防止するために、機器はきれいに保ってください。
- 作業するときは、周囲を整頓する
散らかった場所で作業すると、事故の原因になります。
- 作業中は常に周囲に気を配る
運転音のために周囲の音が聞こえないことがあります。必ず目視で確認してください。



- 医療用ペースメーカーを使用している方は、本製品の使用に当たって医師とよく相談する
本製品の磁気がペースメーカーに影響を与える場合があります。
- 本製品を使用して、体調に異常を感じた場合は、医師に相談する
本製品の振動が健康に影響を与える場合があります。異常を感じた場合は、使用を中止し、医師の診察を受けてください。

使用上の注意

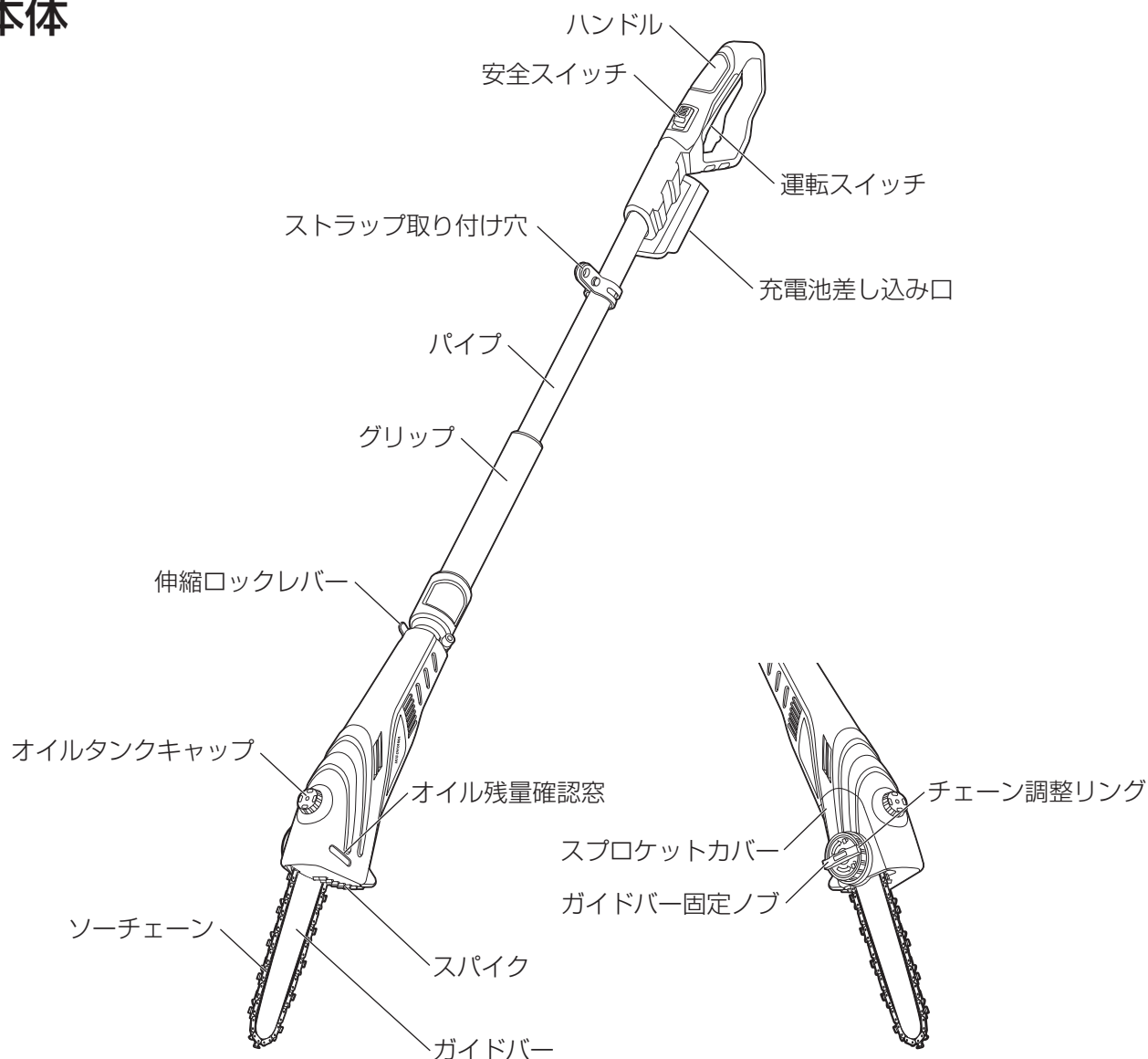
- 音がうるさいと感じる場合は、耳栓をしてください。
- スイッチを繰り返し入／切して使用しないでください。
誤動作や過熱の原因になります。

廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、充電池を取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

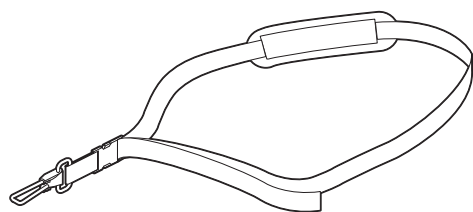
各部の名称

■ 本体

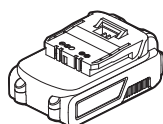


■ 付属品

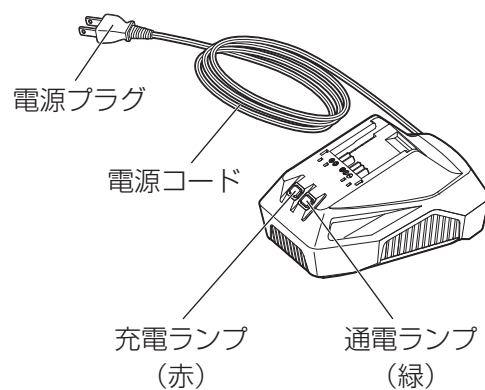
ストラップ



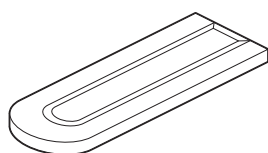
充電電池



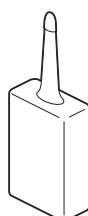
充電器



ソーチェーンケース



チェーンソーオイル



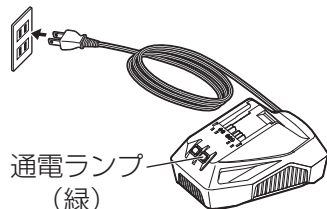
準備

■充電

- 充電電池は、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。

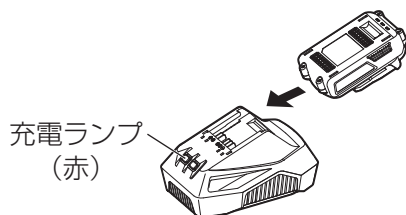
1 充電器の電源プラグをコンセントに接続する

- ・ 通電ランプ（緑）が点灯します。



2 充電器に充電電池を差し込む

- ・ 通電ランプ（緑）が消灯して、充電ランプ（赤）が点灯します。充電が完了すると、充電ランプ（赤）が消灯して、通電ランプ（緑）が点灯します。



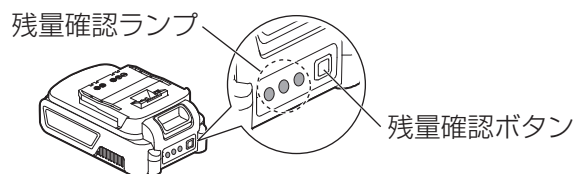
- ※ 充電が完了していないのに充電ランプ（赤）が点灯しないときは、充電電池の充電器への装着を再度確認してください。
- ※ 充電電池や充電器の使用直後で熱くなっているときは、充電できずに充電ランプ（赤）が点灯しないときがあります。その場合は、一旦充電電池を取り外して、冷ました後に再度取り付けてください。
- ※ 複数の充電電池を充電するときは、2個までにしてください。2個連続して充電した後は、充電器が十分に冷えてから次の充電を行ってください。

充電電池について

- 使用中は充電電池が熱くなることがあります。熱くなった充電電池はしばらく放置して、冷めるのを待ってください。
- 充電中に、充電電池や充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、室温5～35℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- 充電電池残量が低下して十分な動作ができなくなったときは、使用を停止し、充電電池を充電してください。
- 充電電池はフルに充電されていなくても使用できます。
- 充電電池を差し込むときに、金属片などをはさみ込まないように注意してください。

充電電池残量の確認

- ・ 充電電池の残量確認ボタンを押すと、充電電池の残量確認ランプが点灯して残量の目安を示します。



残量確認ランプ ●点灯 ○消灯	充電電池残量
● ● ●	60～100%
● ● ○	20～60%
● ○ ○	20%未満 ※充電してください。

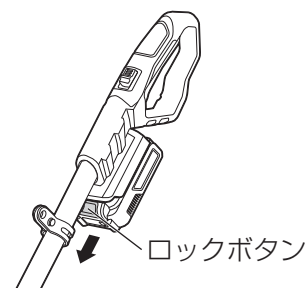
■充電電池を装着する

- ・ 充電電池差し込み口に充電電池のリブを差し込み、カチッとなるまで押し込んでください。



充電電池の取り外しかた

- ・ 充電電池のロックボタンを押しながら、充電電池を取り外してください。



■ソーチェーンを取り付ける

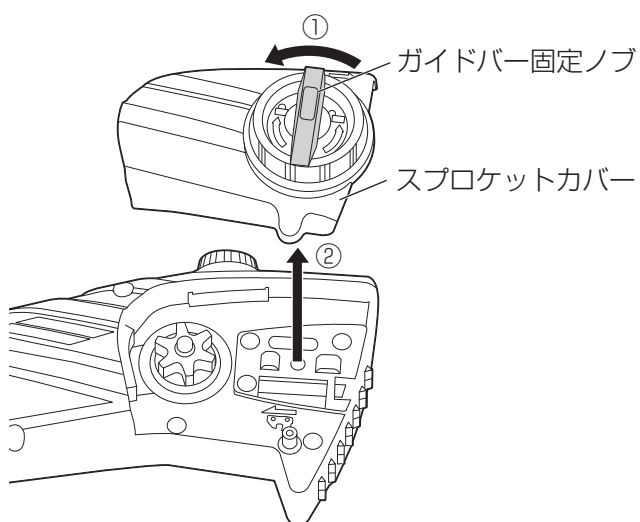


- ソーチェーンの取り付けや取り外しをするときは、必ず運転を止め、充電電池を外してから行ってください。また、保護手袋を着用してください。
- ソーチェーンの回転方向と取り付け方向を確認し、正しく取り付けてください。

- ソーチェーンの取り付けや取り外しは、切りくずなどのないきれいな場所で行ってください。
- ソーチェーンにはあらかじめオイルが塗布されていますので、汚れてもよい場所か、敷物などの上で取り付けや取り外しを行ってください。

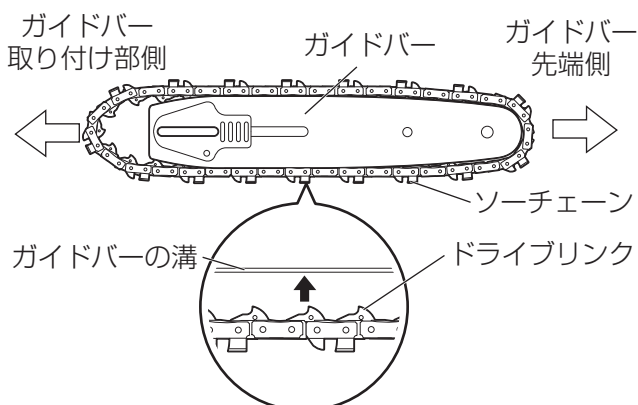
1 スプロケットカバーを取り外す

- ・ガイドバー固定ノブを反時計周りに回し (①)、スプロケットカバーを取り外してください。(②)

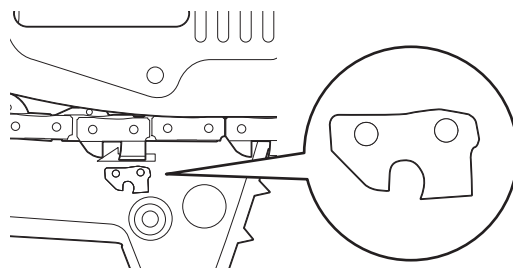


2 ガイドバーにソーチェーンを取り付ける

- ・ガイドバーの先端からソーチェーンのドライブリンクをガイドバーの溝に順に入れます。
- ・ガイドバー取り付け部側のソーチェーンが余っている状態にしてください。

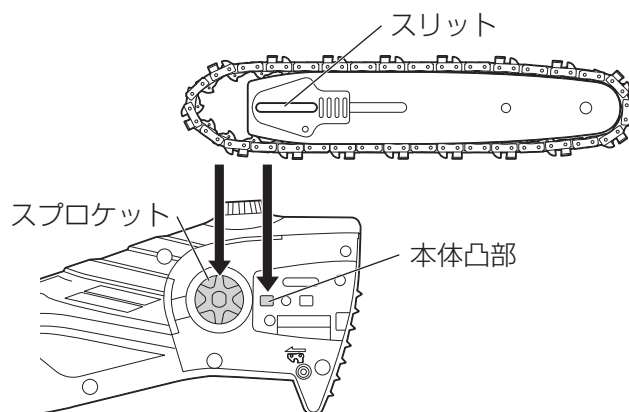


※ソーチェーンのカッターの向きと、本体に刻印されているカッターの向きが同じことを確認してください。

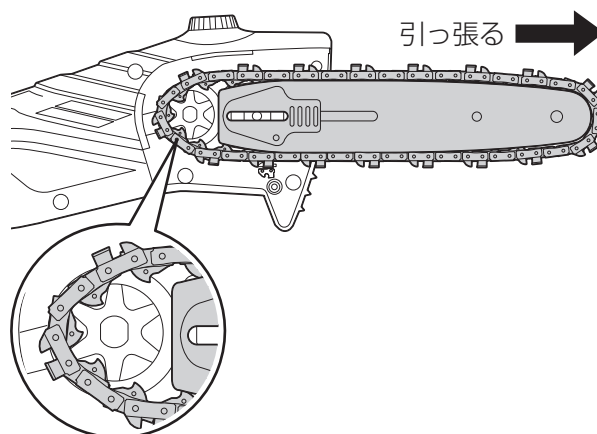


3 ガイドバーを本体に取り付ける

- ・ガイドバー取り付け部のスリットと本体の凸部を合わせてガイドバーを取り付け、スプロケットにガイドバー取り付け部側のソーチェーンをかけてください。

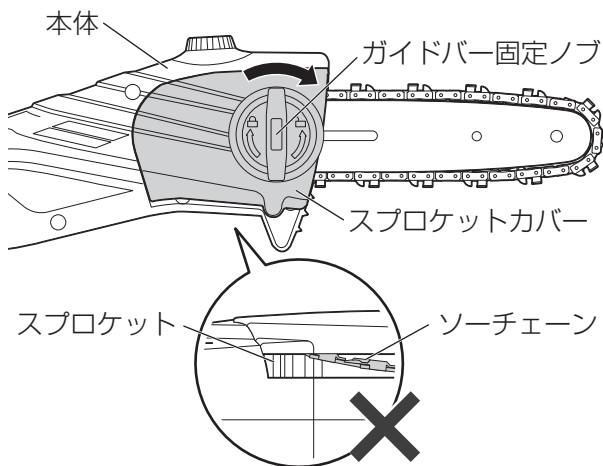


4 ソーチェーンにたるみがなくなるよう、ガイドバーを先端方向に引っ張る



5 スプロケットカバーを取り付ける

- ・スプロケットカバーのツメを本体に差し込んでからスプロケットカバーを取り付け、ガイドバー固定ノブを時計回りに回してソーチェーンを固定します。
- ・取り付けたあとは必ずソーチェーンの張りの調整を行ってください。

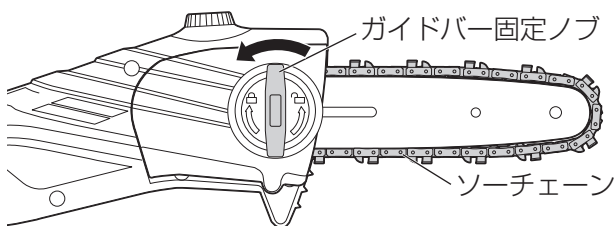


■ソーチェーンの張りを調整する

- ソーチェーンの張りの調整をするときは、あらかじめソーチェーンが冷えていることを確認してください。
- 新しいソーチェーンは伸びやすいため、使用中はこまめに調整してください。
- 新しいソーチェーンを使用するときは、チェーンソーオイルにしばらく漬けるか、ガイドバーとソーチェーンに直接チェーンソーオイルを注油してから使用してください。

ソーチェーンを取り付けたあとは、必ずソーチェーンの張りを調整してください。また、使用中もソーチェーンの張りを確認し、張りが常に適切になるように調整を行ってください。

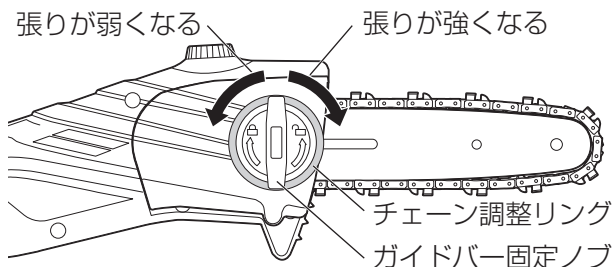
1 ガイドバー固定ノブを反時計回りに回して、ソーチェーンを緩める



※ソーチェーンがガイドバーから外れないように注意してください。

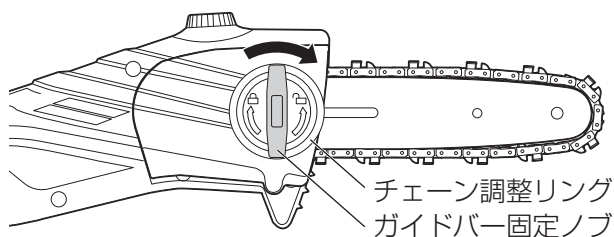
2 チェーン調整リングを回して張りを調整する

- ・チェーン調整リングを時計回りに回すと、ソーチェーンの張りが強くなります。反時計回りに回すとソーチェーンの張りが弱くなります。



※チェーン調整リングを回すときは、ガイドバー固定ノブが回ってしまわないように注意してください。

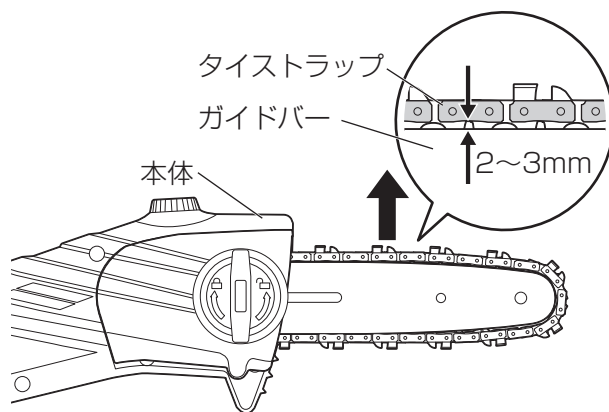
3 ガイドバー固定ノブを時計回りに回して、しっかりと締める



※ガイドバー固定ノブを回すときは、チェーン調整リングが回ってしまわないように注意してください。

4 ソーチェーンの張りを確認する

- ・本体を押さえながら、ガイドバー中央付近のソーチェーンを軽く引っ張り、ガイドバーからソーチェーンのタイストラップの底の隙間が2～3mm程度あることを確認してください。

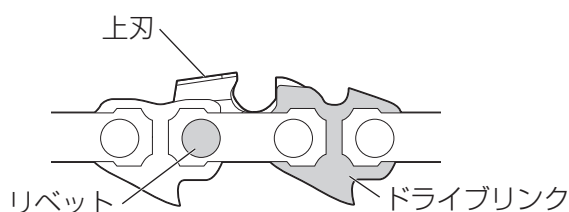


- ・隙間が小さすぎるとソーチェーンの張りが強くなり、ソーチェーンの破断やモーターの焼き付きの原因になります。隙間が大きすぎるとソーチェーンが使用中に外れるおそれがあります。

■ソーチェーンの点検

ソーチェーンの状態を点検してください。ソーチェーンが次のような状態のときは、ソーチェーンを取り外し、新しいソーチェーンに交換してください。

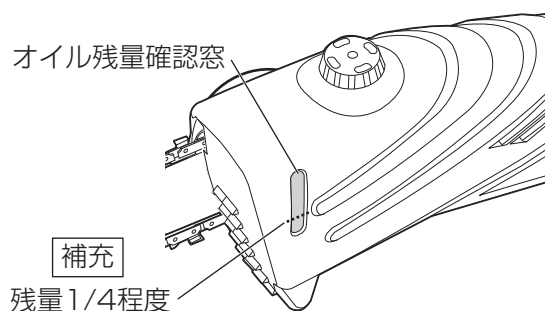
- ・刃が破損している
- ・リベットが緩んだり、破損したりしている
- ・ドライブリンクなどが曲がったり、破損したりしている



※ ソーチェーンを取り外すときは、取り付けと逆の手順で取り外してください。

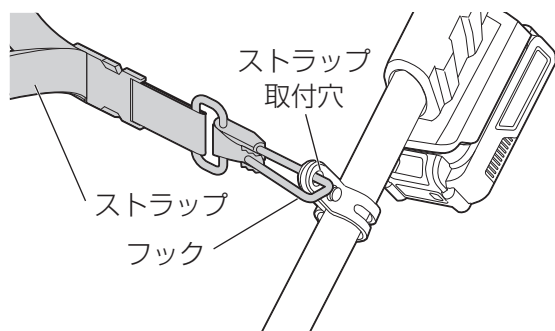
■チェーンソーオイルの確認

オイル残量確認窓を確認してチェーンソーオイルの残量が十分であることを確認してください。残量が1/4程度以下のときはチェーンソーオイルの給油をしてください。(→P17)



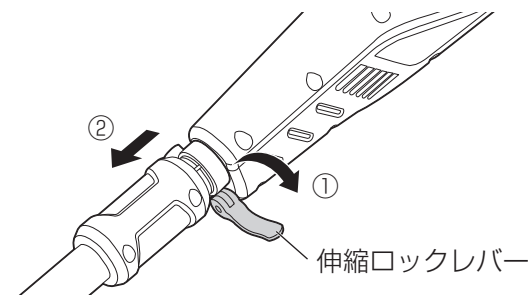
■ストラップを取り付ける

ストラップを使用することで、より安定して作業を行うことができます。ストラップのフックをストラップ取付穴に取り付けてください。

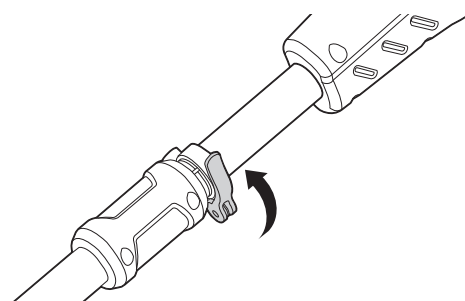


■ポールの長さを調整する

- 1 伸縮ロックレバーを開き (①)、パイプをスライドさせて使用したい長さに合わせる (②)



- 2 伸縮ロックレバーを閉じてパイプを固定する

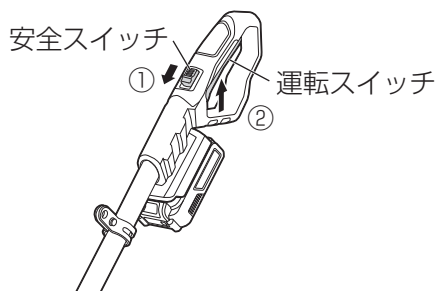


使いかた

■ 運転のしかた

- 1 ハンドルとグリップを両手でしっかり持つ
- 2 安全スイッチを押しながら (①) 運転スイッチをにぎる (②)

・ソーチェーンが回転します。



・ソーチェーンを止めたいときは運転スイッチから手を離してください。

※ 運転スイッチから手を離してもしばらくの間ソーチェーンは回転しますので、注意してください。



- 運転スイッチに物をはさんでロックしたりしないでください。
けがの原因になります。

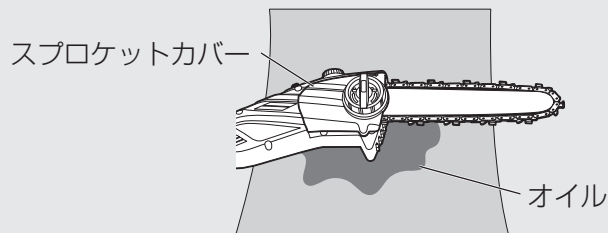
■ 運搬するとき



- ボルト、針金、金属工具などが本体や充電器、充電池などに触れないようにしてください。充電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因になります。

- 本製品を車両などで運搬する場合は以下に注意してください。

- 充電池は必ず本体から取り外してください。
- 本体や充電器、充電池が落下、転倒したり、破損などしたりしないような場所を選んで積載してください。
- 本体を立てて運搬しないでください。
- 本製品を車に積んだまま、長時間悪路を走行しないでください。
- 本製品は構造上チェーンソーオイルがもれ出します。スプロケットカバーを布などでくるんで固定してください。もれ出たオイルで車両などを汚損する原因になります。



- オイルのもれ出る量が多い場合は、オイルタンクキャップを外し、あらかじめ本体からオイルを抜いてください。また、高温になる場所にはできるだけ置かないでください。

■切断する



- ネックレスなど巻き込まれやすいものを着用して使用しないでください。
- そでやすそがひらひらしている服や、余裕のある服を着用して使用しないでください。
- 髪の毛が長い場合は束ねてください。
製品の回転する部分に巻き込まれてけがをするおそれがあります。
- ソーチェーンにはさまった異物を取り除いたり、ソーチェーンを掃除したりするときは、必ず運転を止め、充電電池を外してから行ってください。

- 切断をするときは枝が飛び散ったり、製品の回転する部分に巻き込まれたりなどしてけがをするおそれがあります。以下のような服装を着用して安全に使用してください。

- 保護帽やヘルメット
- 保護めがねやマスク、またはフェイスシールド
- 長袖の上着
- 保護手袋（軍手は巻き込まれやすいので使用しないでください）
- チェーンソー用防護ズボン、チャップスなど
- チェーンソーブーツまたは滑りにくい靴

- 作業をするときは半径15m以内に人や動物がいなかったことを確認してください。

- 歩道など、人が通行する場所を確認してください。

- 周囲に電線などがいないことを確認してください。

誤って切断すると感電のおそれがあります。

- 切断する個所に障害物（太い枝など）や異物（ワイヤーフェンスなど）がないことを確認してください。

障害物や異物にソーチェーンが当たったときは使用を中止し、本体やソーチェーンに異常がないことを確認してください。

- 壁などの近くを切断するときは、ソーチェーンが当たらないように注意してください。

- ガラス窓や車など、傷を付けたくないものが近くになことを確認してください。

- はしごや脚立、木の上などの不安定な場所で使用しないでください。

- 作業中は以下について確認し、枝の落ちる場所に注意してください。

- 切断する枝や周囲の枝の形状（曲がり具合、枝の張り具合など）
- 障害物の有無や地形、風向きなど
- 地面の傾斜（傾斜地で作業をするときは、切断した枝が転がってこないよう、高台に立ってください）

- 切断する枝の真下に立って作業しないでください。

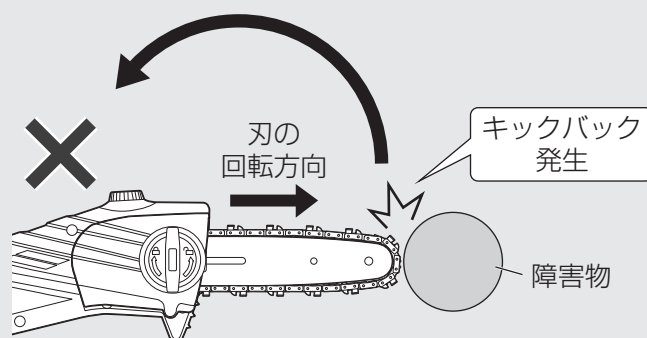
- 枝が落ちるときは周囲に警戒の合図を出し、運転スイッチから手を離して安全な場所に避難してください。

- ソーチェーンやガイドバーが木に挟まったときは、運転スイッチから手を離し、くさびを使用するなどして安全に取り外してください。

- 曲げられている木、掛かり木、裂けている木などを切断するときは、跳ね返りに注意してください（十分な経験を積んだ作業者に依頼してください）。

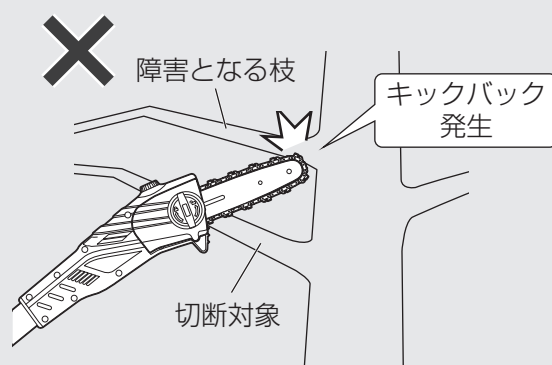
- 作業中はキックバックに注意してください。

ガイドバーの先端で枝などを切断しようとするとき、ソーチェーンが枝や障害物に当たったときにソーチェーンの回転する力でソーチェーンが跳ね返ることがあります。このことをキックバック（跳ね返り）と言います。



キックバックが発生するとけがの原因になりますので、以下のことに注意してください。

- ガイドバーの先端で枝を切断しない
- ガイドバーの先端を枝や地面に触れさせない
- 切断する枝の奥に別の枝などがある場合、ガイドバーの先端をそれらに触れさせない



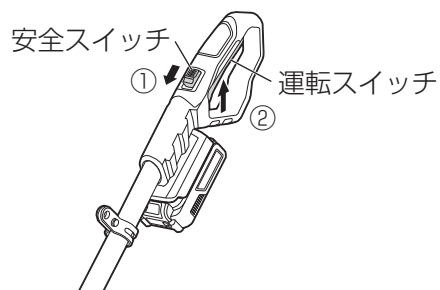
1 ソーチェーンを安全な場所に向ける

- ・ストラップを使用するときはストラップを肩にかけてください。

使いかた つづき

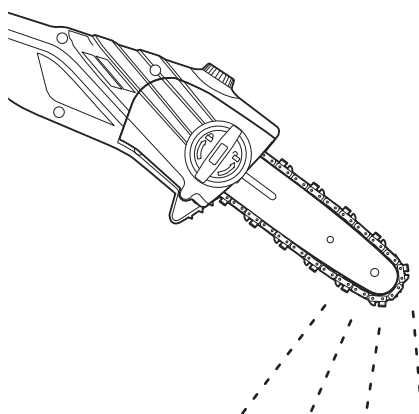
2 安全スイッチを押しながら (①) 運転スイッチをにぎる (②)

- ・ソーチェーンが回転します。



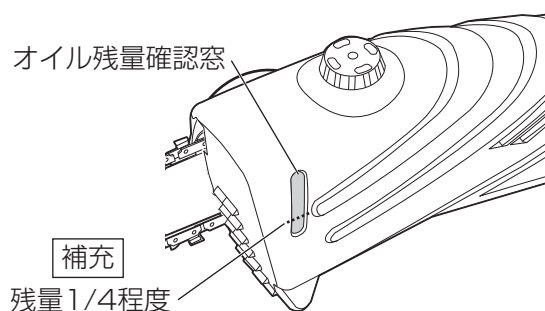
3 切断する

- ・ソーチェーンの回転速度が安定し、ガイドバーの先端からチェーンソーオイルが出ていることを確認してから切断してください。



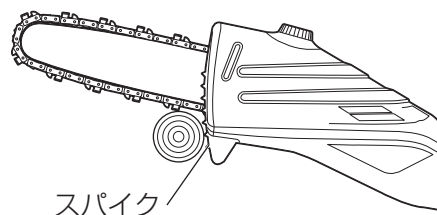
※ 初めて使うときや、空のオイルタンクに給油した直後は、チェーンソーオイルが出てくるまでしばらく時間がかかることがあります。

※ 使用中はオイル残量確認窓を確認してチェーンソーオイルの残量に注意してください。残量が1/4程度以下になったときは作業を中断し、チェーンソーオイルの給油をしてください。(→P17)



細い枝のせん定

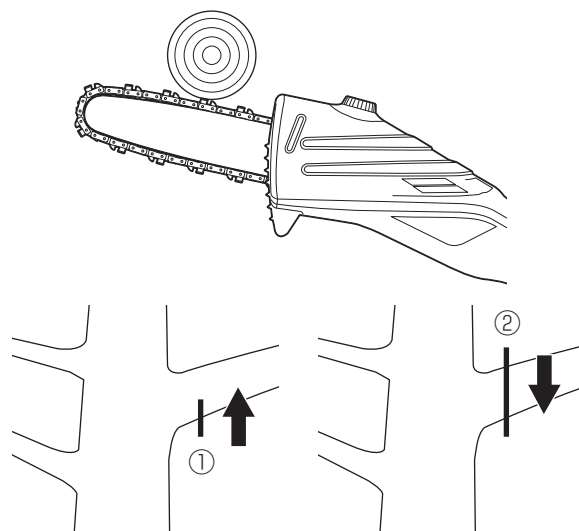
- ・スパイクを軽く枝に押し付けながら切断してください。



※ ガイドバーを枝に強く押し付けしないでください。ソーチェーンやガイドバーの摩耗が早くなります。

太い枝のせん定

- ・枝の下側に小さな切り込みを入れたあと (①)、上側から切断してください。(②)



※ あらかじめ下側に切り込みを入れないと、切断面が裂けて仕上がりが悪くなります。

※ 下側から大きく切り込むと、切った枝にソーチェーンが挟まって取れなくなります。

4 使用後は運転スイッチから手を離し、本体から充電電池を取り外す

お手入れ



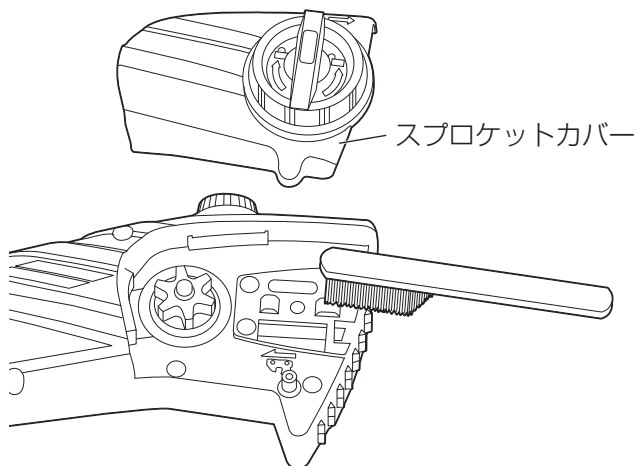
- お手入れするときは、必ず運転を止め、充電電池を外してから行ってください。
- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 清掃は、使用のたびに毎回行ってください。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

■清掃

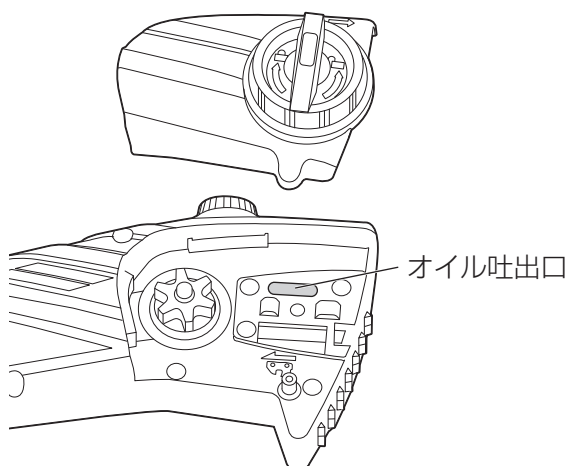
スプロケットカバー内部

- ・スプロケットカバーを外して、内部の木くずやごみを取り除いてください。



オイル吐出口

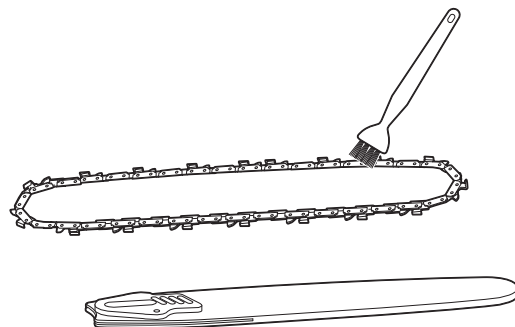
- ・マイナスドライバーなど先の細いものでオイル吐出口のごみを取り除いてください。



- ・ガイドバー先端からのチェーンソーオイルの吐出が少なくなったときは、スプロケットカバー、ソーチェーン、ガイドバーを取り外した状態で運転して吐出口の細かなごみをチェーンソーオイルで流してください。

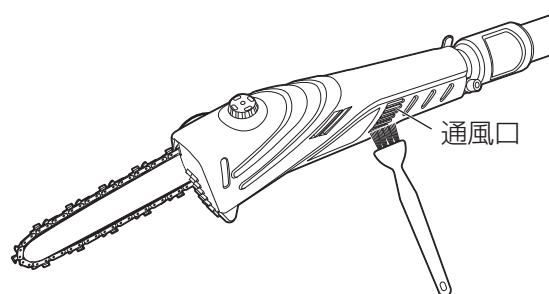
ソーチェーン、ガイドバー

- ・取り付けたときの逆の手順でソーチェーンとガイドバーを取り外してごみを取り除いてください。



本体

- ・本体の通風口などにからまっただごみを取り除いてください。

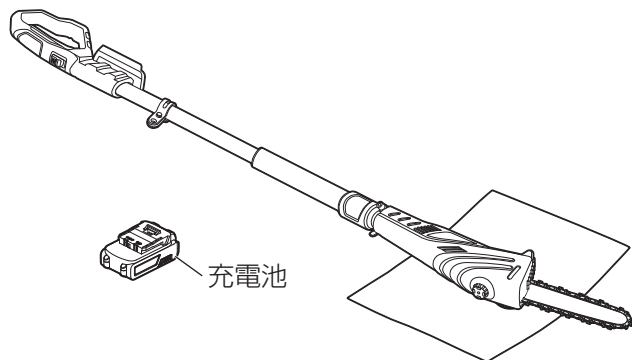


※ごみがこびりついてしまわないよう、きれいに落としてください。

お手入れ つづき

保管

- お手入れした後、ほこりや湿気などが無い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- パイプを短くして、伸縮ロックレバーで固定してください。
- オイルタンク内のチェーンソーオイルを抜いてください。
- スプロケットカバーの下にチェーンソーオイルを受けるものを敷いてください。
- 充電電池は外した状態で保管してください。



- ソーチェーンケースを取り付けて保管してください。

使用済み充電電池について

- 取り外して、最寄りの充電電池リサイクル協力店にお持ちください。一般家庭ごみとして捨てないでください。
- 取り外した充電電池は、コネクターなどの端子部分をテープで絶縁してください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ



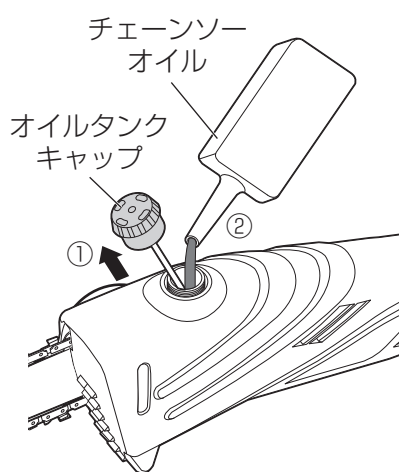
警告

- 充電電池は必ずリサイクルしてください。
次のことを守ってください。
- 一般ごみとして捨てない
- 火の中に投げ入れない
- 分解しない
- 高温になる場所に放置しない
- 他の機器に使用しない

■チェーンソーオイルの給油

- チェーンソーオイルが飛び散るため、汚れてもよい場所で給油するか、汚れてもよい敷物を敷いてください。
- ごみなどの異物が混入したチェーンソーオイルや汚れたチェーンソーオイルは使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属または市販のチェーンソーオイルを使用してください。

1 オイルタンクキャップを外し (①)、オイルタンクにチェーンソーオイルを給油する (②)

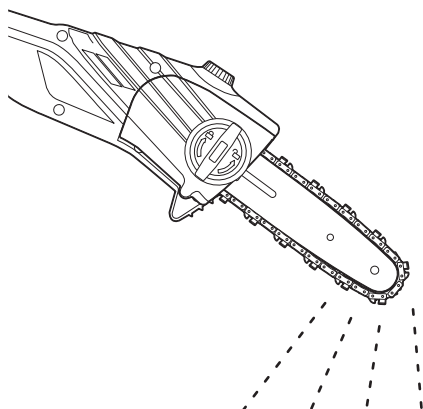


2 オイルタンクキャップをしっかりと締める

- ・オイルタンクキャップを時計回りに回し、しっかりと締めてください。

3 試運転をする

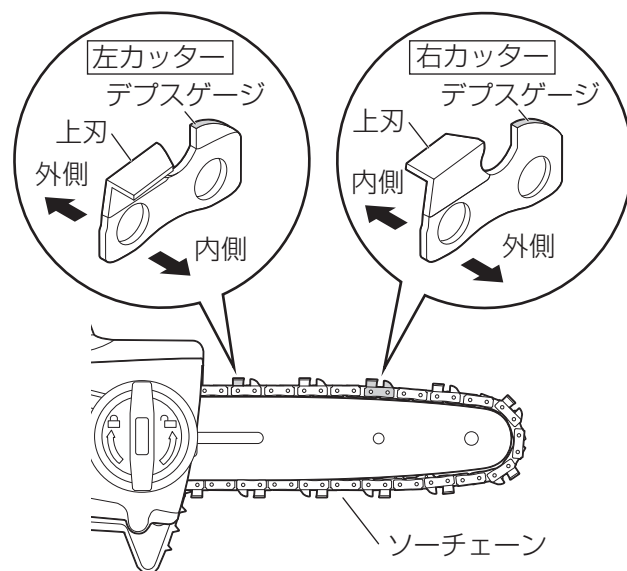
- ・本体に充電電池を取り付け、安全な場所で試運転をしてください。
- ・1分間ほど運転し、ガイドバーの先端からチェーンソーオイルが出ることを確認してください。



■ソーチェーンの目立て

枝が切れにくくなってきたらソーチェーンの目立てをしてください。

- ・ソーチェーンは右カッターと左カッターで構成されています。目立てを行い、それぞれのカッターの刃を研ぐことによって製品の切れ味を良くします。
- ・刃を研ぐことによって刃の高さが低くなるため、デブスゲージの高さも同様に低くします。



- 必ず保護手袋を着用して作業を行ってください。
- 目立て作業は正しく行ってください。目立ての仕上がりは切れ味や性能に影響します。また、正しく行わないと故障の原因になります。
- 汚れてもよい場所で作業をするか、汚れてもよい敷物を敷いてください。
- あらかじめソーチェーンの汚れを取ってください。
- ソーチェーンが冷えているかどうか確認してください。高温になっている場合はしばらく待ち、ソーチェーンが冷えてから作業を行ってください。

- ・目立てには平ヤスリと丸ヤスリ (Φ4mm) が必要です。別途市販品をお買い求めください。
- ・市販のデブスゲージジョインター (0.6mm用) やヤスリホルダー (Φ4mm、5/32"用) があると便利です。

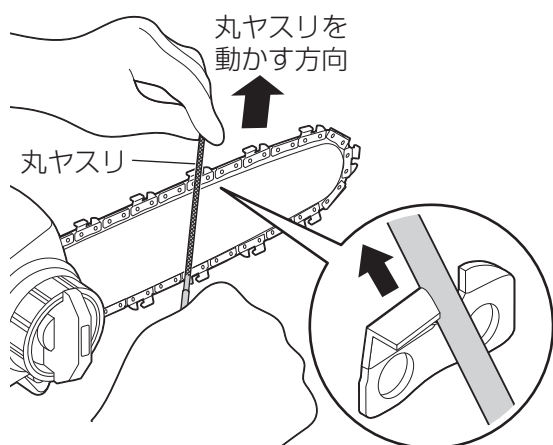
1 ソーチェーンの張りを確認する

- ・ソーチェーンの張りを確認し、張りが十分でない場合は張りを調整してください。(→P10)

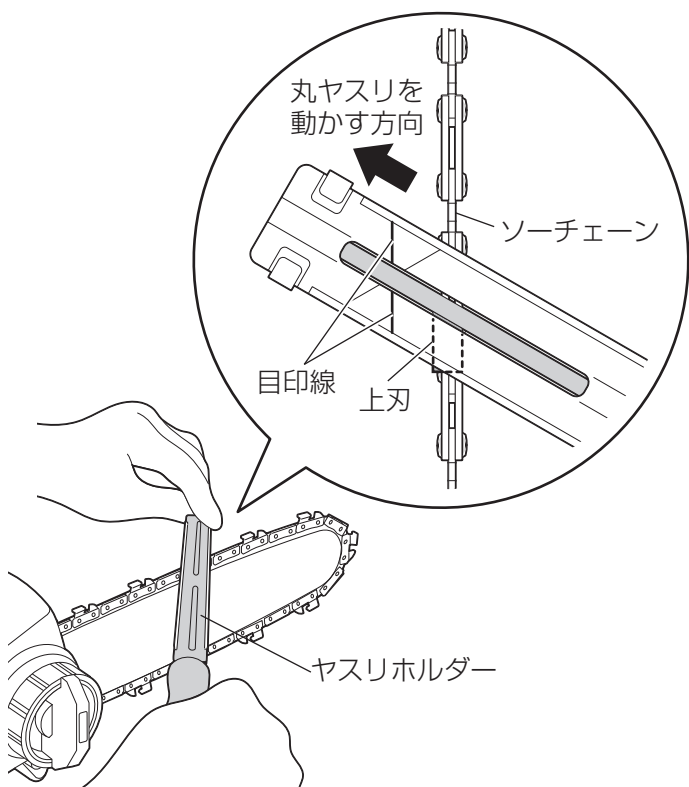
2 製品を平らな場所に置き、固定する

3 左カッターの目立てをする

- 左カッターに図のように丸ヤスリをあてて、左カッターの刃の目立てをしてください。

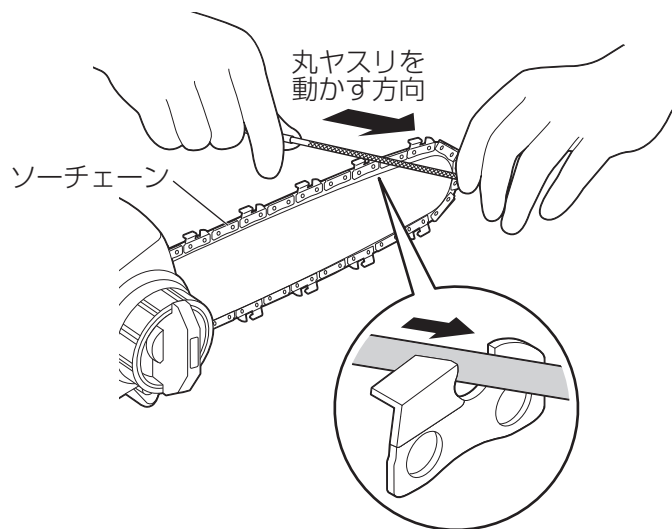


- 丸ヤスリは刃の内側から外側へ向かって研いでください。外側から内側へ引くときは力を抜き、丸ヤスリが刃に当たらないようにしてください。
- カッターひとつにつき、丸ヤスリを2～3往復させてください。
- ※ソーチェーンを送るときはけがをしないように注意してください。
- ヤスリホルダーを使用するときは、ヤスリホルダーの目印線とソーチェーンが平行になるようにしてください。



4 右カッターの目立てをする

- 左カッターと同様に右カッターの刃の目立てをしてください。

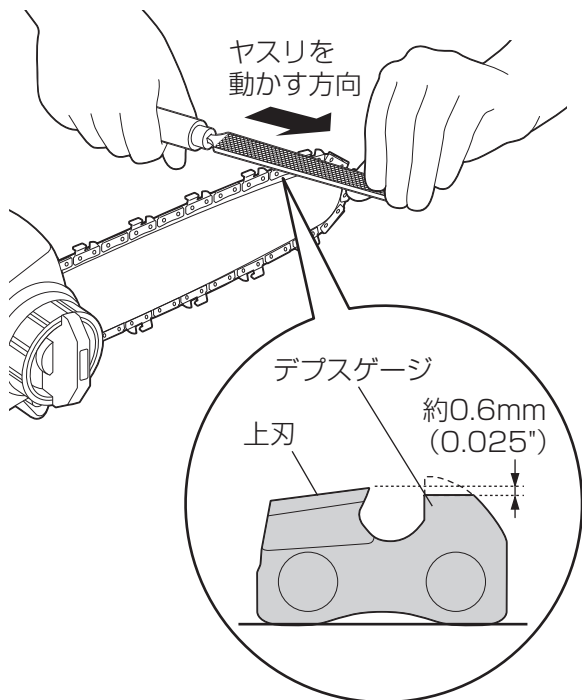


5 デプスゲージの調整をする

すべてのカッターのデプスゲージを削り (①)、角に丸みを付けてください (②)。

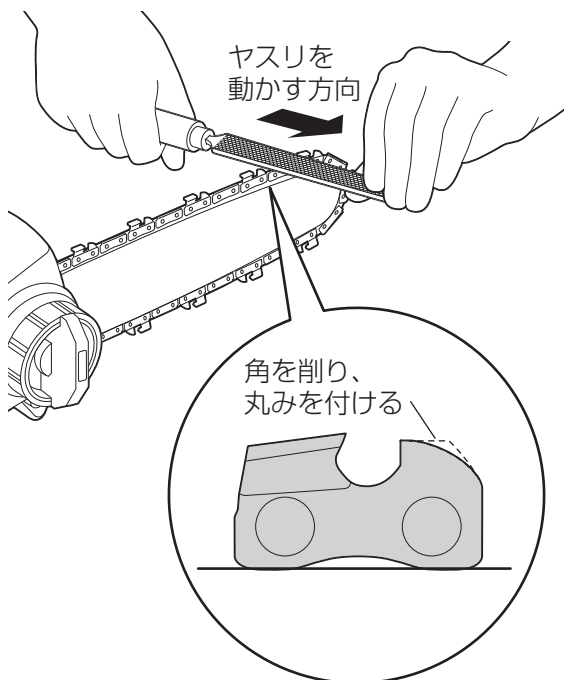
① デプスゲージを削る

- 上刃よりデプスゲージが0.6mm以上低くなるように、ヤスリでデプスゲージを削ります。

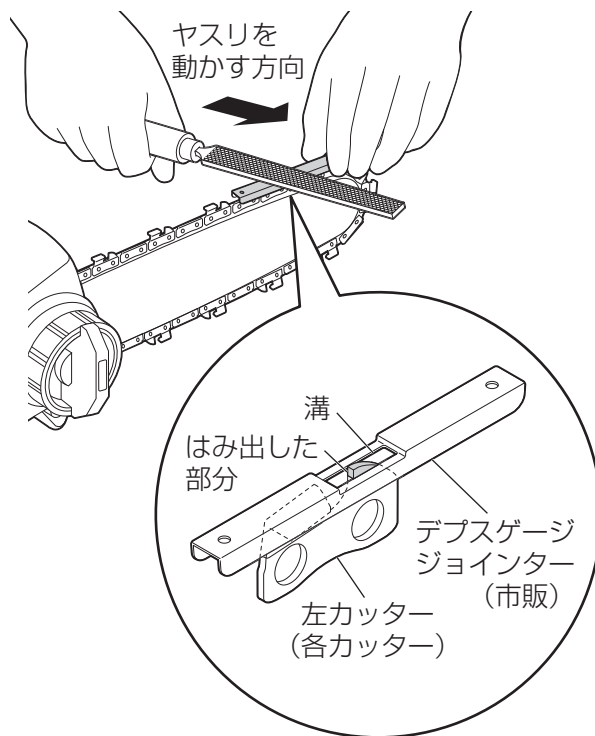


② デプスゲージの角に丸みをつける

- ヤスリでデプスゲージの角を削り、丸みをつけてください。
- ヤスリはガイドバーに対して90°の向きになるように使用してください。



- 市販のデプスゲージジョインターを使用する場合は、デプスゲージジョインターをカッターにあて、溝からはみ出した部分を削ってください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
動作しない	● 充電池が正しく取り付けられていない	● 充電池を本体の差し込み口に差し込み、カチッとなるまで押し込んでください。(→P8)
	● 充電池が消耗している	● 充電池を充電器に取り付けて充電してください。(→P8)
充電池が充電できない (充電ランプ (赤) が点灯しない)	● 充電池が充電器に正しく取り付けられていない	● 充電池の向きを正しく、充電器の奥まで押し込んでください。(→P8)
	● 使用直後で充電池が熱くなっている ● 続けて充電したので、充電器が熱くなっている	● 一旦充電池を取り外して、冷めるのを待ってから、再度充電池を取り付けてください。
充電池が充電できない (通電ランプ (緑) が点灯しない)	● 充電器の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 充電器の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
ソーチェーンがスムーズに動かない	● ソーチェーンにごみがからまっている	● 充電池を取り外して、ソーチェーンをお手入れしてください。(→P15)
	● ソーチェーンにさびなどが出ている	● 充電池を取り外して、ソーチェーンをお手入れし、注油してください。(→P15)
	● ソーチェーンが変形している	● 市販のソーチェーンと交換してください。(→P22)
チェーンソーオイルが出ない	● オイルタンクが空になっている	● 付属または市販のチェーンソーオイルを給油してください。(→P17)
	● オイル吐出口がつまっている	● オイル吐出口を清掃してください。(→P15)
ソーチェーンの切れ味が悪い	● ソーチェーンが破損している	● 市販のソーチェーンと交換してください。(→P22)
	● ソーチェーンが磨耗している	● 市販のソーチェーンと交換するか、ソーチェーンの目立てをしてください。(→P17)
	● ソーチェーンのカッターの向きが逆になっている	● ソーチェーンのカッターの向きを確認してください。(→P9)

状 態	考えられる理由	処 置
本体から異音が する 異常な振動が発生する	●ソーチェーンにごみがからまっている	●充電電池を取り外して、ソーチェーンをお手入れしてください。(→P15)
	●ソーチェーンやガイドバーが正しく取り付けられていない	●ソーチェーンとガイドバーを正しく取り付けてください。(→P9)
	●ガイドバー固定ノブやその他の締め付け部が緩んでいる	●ガイドバー固定ノブなどをしっかりと締めてください。
	●ソーチェーンまたはガイドバーが破損している	●ソーチェーンやガイドバーを新しいものに交換してください。
	●伸縮ロックレバーが固定されていない	●伸縮ロックレバーを固定してください。
運転スイッチを にぎっても 運転しない	●安全スイッチを押していない	●安全スイッチを押したまま、運転スイッチをにぎってください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

チェーンスピード	2.8m/s
最大切断径	170mm
ソーチェーン	91PX-33E (3/8"ピッチ)
オイルタンク容量	80mL
振動3軸合成値	2.5m/s ² 以下 ※ ISO22867規格に基づき測定
製品寸法	長さ1,460～2,000×幅105×高さ150mm
製品質量（充電電池含む）	3.1kg
運転時間（無負荷時）	約20分
付属品	充電式リチウムイオン電池：DBL1820 1個、 充電器：DBLC18 1個、ストラップ 1本、 ソーチェーンケース 1個、チェーンソーオイル 1個

充電電池仕様

種類	リチウムイオン二次電池
定格電圧	DC18V
容量	2000mAh
使用温度	0～40℃（充電時：5～35℃）

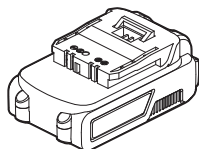
充電器仕様

入力	AC100V 50／60Hz
出力	DC20V 2A
充電時間	約60分

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■別売品

DBL1820：充電電池



保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

充電式ポールチェーンソー JPC1518

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（ソーチェーン、充電電池など）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
		住所・店名	
		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564** (通話料無料) / 修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070** (通話料無料)
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)